

問い合わせ先
第十一管区海上保安本部
海洋情報監理課長 米須 清
TEL 098-867-0118 (内線2510)

平成22年 8月27日
第十一管区海上保安本部

9月12日は何の日？

9月12日は、1871年(明治4年)9月12日に、兵部省(ひょうぶしょう)海軍部水路局が誕生し、組織的に我が国独自で海図の作成を開始したことを記念して制定された「水路記念日」で、今年で139回目です。

当本部においては、今年の「水路記念日」にあわせ、海洋情報業務の振興に永年努めてこられた方を表彰することとしております。

また、「水路記念日」の前後に、マリンレジャーの安全に有益な情報など海に関する各種情報を「海洋情報パネル展」と称し展示することとしており、今年で5度目となります。

1. 表彰式

日 時： 9月13日 16時00分から

場 所： 第十一管区海上保安本部内

被表彰者： 多年にわたる海洋調査業務への従事による海洋情報業務への貢献
いであ株式会社SDプロジェクト本部副本部長
兵働 博文(ひょうどう ひろふみ)氏

2. 海洋情報パネル展

①期 間： 9月15日まで

場 所： 沖縄美ら海水族館

内 容： 沖縄の海の特徴、リーフカレント、海図で見る今昔、3D海底地形など

備 考： パネル展の見学には沖縄美ら海水族館への入館(有料)が必要です。
同水族館の開館時間は8時30分~20時00分(入館締切19時00分)です。

②期 間： 9月9日~9月16日

場 所： 那覇港湾合同庁舎(第十一管区海上保安本部) 1F

内 容： リーフカレント、3D海底地形など



「沖縄美ら海水族館」での展示の様子

「水路記念日」の歴史

明治初期、次々に日本に来航したイギリスをはじめとする諸外国が、日本沿岸の測量を行い、海図を作るなどして、日本周辺の地を明らかにしていく事態に、明治政府は、国防のみならず海運のために、自ら測量して海図を作成することの重要性を認識し、1871年（明治4年）9月12日に、兵部省海軍部水路局を設置し、組織的に我が国独自の海図の作成に取りかかりました。

この日を記念して「水路記念日」が制定されました。

昭和46年の100回を記念した式典では、現天皇陛下・皇后陛下（当時皇太子・同妃殿下）をお迎えして盛大な式典が東京で行われました。

兵部省海軍部水路局は、その後、様々な変遷をたどり、昭和24年には海上保安庁水路部、平成14年からは海上保安庁海洋情報部となり、海図の作成だけではなく、水路通報・航行警報などの航海の安全に必要な情報を提供するとともに、防災や環境保全などに関連した海洋調査を行い、様々な海洋に関する情報の提供を行っています。

<組織の変遷>

1871年(明治 4年)	9月12日(旧暦 7月28日)	兵部省海軍部水路局
1872年(明治 5年)	4月 5日(旧暦 2月28日)	海軍省水路局
1872年(明治 5年)	11月13日(旧暦 10月13日)	海軍省水路寮
1876年(明治 9年)	9月 1日	海軍省水路局
1886年(明治19年)	1月29日	海軍水路部(海軍大臣に属する機関(海軍省外局)となる)
1888年(明治21年)	6月27日	水路部(海軍の冠称を廃し水路部と改称)
1921年(大正10年)	11月29日	水路部(運輸省外局となる)
1948年(昭和23年)	5月 1日	海上保安庁水路局(海上保安庁は運輸省外局となる)
1949年(昭和24年)	6月 1日	海上保安庁水路部
2002年(平成14年)	4月 1日	海上保安庁海洋情報部